

令和7年度 第1回 嶺南地域医療構想調整会議 若狭分科会	資料3
令和7年8月4日（月）19時～	

へき地等における医療MaaSの 導入検討について

DXカテゴリー

①⑤

生活のDX
スマート×医療

へき地等における医療M a a S導入に向けた検討

施策の概要

■ 概要

へき地等における医療M a a S（医療機器と看護師を載せた車両が集会所等まで移動し、医師が病院や診療所からオンライン診療を実施）の導入について、医療機関、市町、医師会などの関係者とともに検討を進める。

■ 期待される効果

- ・ 高齢化の進展により、移動手段の確保が困難となる患者の医療アクセスを確保
- ・ 医師の負担軽減、巡回診療における医療提供の高度化
- ・ 病院における診療とへき地等における医療提供を両立し、医師の高齢化や不足といった状況に対応

■ 内容

- ・ 医療機関、市町、医師会などで構成する検討会を開催
- ・ 医療M a a Sの展示会を実施
- ・ 市町や医療機関に実証実験への参加意向を調査

■ スケジュール

- R 7 検討会、医療M a a S展示会、意向調査の実施
- R 8～ 医療M a a Sの実証実験を開始

▼ 医療M a a Sの車両イメージ



■ 補助対象者、連携先企業 民間事業者

■ 予算額等 13,257千円（R7 当初）

■ 担当部局 健康福祉部健康医療局地域医療課

へき地等における医療MaaSの導入検討について

令和7年度の実施状況・予定

① 医療MaaSの導入に関する検討会を年3回開催

- ・ 検討会は県医師会、敦賀市医師会、三方郡医師会、小浜市医師会、市立敦賀病院、公立小浜病院が委員。嶺南6市町がオブザーバーとして参加
- ・ 第1回（7月）令和7年度の事業内容を説明
- ・ 第2回（10月）医療機関、市町などへの意向調査などを踏まえ、実証実験の候補先を決定
- ・ 第3回（2月）実証実験の内容を議論

② 8月に嶺南地域のうち2か所で医療MaaS展示会を開催

- ・ 医療MaaSの導入効果、事例などの紹介
- ・ 車内見学、オンライン診療デモンストレーション
- ・ 先行事例について自治体職員、医師による基調講演やクロストーク

<展示会開催の候補地>

○小浜市

- ・ 公立小浜病院の医師が4つの無医地区で巡回診療を実施しているものの、現地までの移動に多くの時間を要していることなどが課題

※ 小浜市堅海、同 上根来、若狭町西浦、高浜町日引

○敦賀市

- ・ 4つのへき地診療所を1人で担当している医師（市採用）が高齢であり、対応策として医療MaaSの活用を検討

※ 国保足田診療所、同 杉箸出張所、同 葉原出張所、国保東浦診療所



【展示する医療MaaS車両のイメージ】

嶺南地域の医療関係者の皆様に展示会をご覧いただきたい

第1回検討会での主な意見について

実施日	主な意見
7月10日	• 医師不足は30年前から変わらず、将来的にへき地診療所の常勤医確保が困難になるため、医療MaaS等を活用した医療提供の維持について検討しておくことは必要 • 交通弱者への医療提供が可能となること、医師の移動負担の軽減により巡回診療を効率化できること、オンライン診療の活用により専門医の意見が医療過疎地域に反映できることに期待 • 医師としては、対面診療が最優先であり、従来からのかかりつけ医、訪問・巡回診療医の活動を尊重してほしい。 • 市町がデマンド交通のような手段で患者を週に1回まとめて医療機関に運ぶ方が、効率的かつ対面診療が可能という利点はある。一方で、デマンドバスは帰りの便がない場合や、乗り換えが必要などの課題があり、すべての需要に対応することは困難 • へき地の患者数は少なく、採算性の確保が課題である。行政による支援等の持続性があるスキーム構築を検討すべき。 • へき地医療を未実施の医療機関としては、無医地区の巡回診療を行っている医療機関での導入結果を踏まえて検討したい。